

## 〈実践編〉納戸①

今回から納戸の整理収納実践編がスタート。仕事道具が多い読者モニターの要望を取り入れながら、2カ所の納戸を片付けていく。

### 納戸A



Before

## 1 衣類を中心とした納戸へと整理

読者モニターは、衣類や備品、保管しておく書類などがたくさんあり、どのように配置すればいいのかが悩みながら使っていた。納戸Aには、冷蔵庫と洗濯機も置いてある。使っていない衣装ケースを利用しながら、衣類を中心とする備品倉庫として整理していく。

### こんな風に片付けたい！

- ・備品や食材、衣類など、仕事で使うものを2カ所の納戸に収めたい。
- ・ケースに入ったままの衣類もあるので、使い勝手良く整理したい。
- ・冷蔵庫の配置や備品のまとも方など、自分以外の人も使いやすいように整理してほしい。

しっかり計測し  
収納計画を作成！



次号予告 モノの把握と収納計画の決定

少しの工夫で驚くほど快適に！ vol.65

# くらしの 整理収納術

整理収納アドバイザー・住まい方アドバイザー 佐藤江理子さん

Profile / 1974年酒田市出身。(株)佐藤江理子建築工房代表取締役。二級建築士、インテリアコーディネーター、整理収納アドバイザー1級、住宅ローンアドバイザーの資格を持ち、お金のことから間取り・インテリアなど家づくりの全てを担当している。近藤典子暮らしアカデミー第4期生で山形県唯一の「住まい方アドバイザー」。



## 2 仕事の備品置場と運動空間を確保



Before

納戸B

6畳ほどの広さがある納戸B。もともとは部屋として使っていたので、テレビや健康器具などが置いてある。一角は趣味のスペースとして確保し、仕事で使う備品を使用頻度別に分け、動線に配慮した片付けを行う。

▶クローゼットの中には大きな冷蔵庫がある。納戸に出して、扉を開け閉めしなくていいように配置換える。届きにくい枕棚も活用し、収納していく。

